

S. Y. 2019年卒 地域マネジメントコース

こんな学生時代を過ごしました

大学入学前までは、管理栄養士になりたいと思っていました。管理栄養士の免許を取得できる大学に行く予定でしたが、なぜか地域創生学群へ進学することになりました。

経緯はさておき、自分の選択を決して後悔しないようにと、実習にゼミ、バイトに部活と自分のやりたいことに全力で取り組んだ4年間だったと思います。大きな目標を持ち、それを達成したような4年間ではありませんでしたが、興味のあることに興味があると言い続けたことで、ラッキーなことに周りの方々に恵まれ、たくさんの機会を与えていただきました。その環境を楽しみ、意味を見出せたことが充実した4年間につながったと考えています。

3年間の実習では主に、ESD、SDGsに関する地域活動に取り組みました。ジェンダーや環境問題についてなど、大学に入学する前までは全く触れてこなかった概念を学ぶことができ、多様な価値観を受け入れられる柔軟性を得ることができたことは、社会に出る前の自分自身にとって貴重な経験となったと感じています。

また、地域の方や行政の方と協働し、イベント企画からPR、運営までを実行した経験は、「どう伝えれば相手に届くのか」を徹底的に考え、試行錯誤しているという点で、現在のSNSマーケティングの仕事と少し似ているところもあり、現在のキャリアでも役立っていると感じます。

また、真鍋先生とキャンパスSDGsというプロジェクトを立ち上げ、学内のSDGs推進に取り組みました。他学部の子学生、教員、大学スタッフにも参加いただいたこのプロジェクトでは、プロジェクトへの意欲や所属も異なるメンバーを巻き込み、同じ目的に向かって推進していく難しさを実感した経験でした。しかしそこで得た「それぞれに寄り添いながらうまく回す」スキルは、現在の仕事において、所属や立場が異なる人々の間に立ち、物事を進める場面でも役に立っていると感じています。

大学入学前までは管理栄養士になりたかったので、4年間の中で進路に迷うこともありましたが、しかし様々な経験をする中で、重要なのは職種そのものではなく、その仕事で何を達成できるか、何のために働けるのかなのだと気づきました。私は「自分が介在することで、人や物事をポジティブな状態に変化させること」を仕事の中で達成したい、この気づきは、興味のあることに興味があると言い続けて、色々な経験をし、視野を広げられたからこそ得られたものだと思います。学生時代の様々な経験は、今の仕事の土台となっています。



キャンパスSDGsに取り組んだ際の写真。

卒業後こんなキャリアを歩んでいます

卒業後は北九州市役所に就職し、その後転職してSNSマーケティングの企業で働いています。

市役所での初配属は、区役所の市民税課でした。若いうちに仕事を通して税金について学ぶことができたことは、今となってはかなり良かったと感じています。また、配属された部署は自分の次に若い方が40代後半とかなり年齢層の高い部署だったのですが、学生時代に様々な世代の方々と関わってきた経験のおかげで、コミュニケーションに困ることはなく良好な関係を築けました。市役所の市民税課での経験は、「どんな環境でも自分なりの学びや楽しみ方を見つけ、ポジティブに捉える」という姿勢を確立する2年間となりました。

その後、市役所の広報課へ異動し、市政テレビ制作とSNS運用の業務に携わりました。ここで初めてSNS運用の面白さに触れ、もっと深く関わりたいという思いが芽生えたことが、現在のキャリアを選択したきっかけとなります。結婚を機に北九州を離れ、現在はSNSマーケティングの会社で企業のSNS運用を担当しています。

SNSマーケティングと聞くと一見キラキラした仕事のように思えますが、どうすれば一人でも多くの方に投稿を見てもらえるか、どうすれば商品の魅力が伝わるか、正解のない問いに対して最適解を模索し続ける、そんな泥臭い仕事でもあります。正解がないからこそ、自分自身のアイデアが採用され、うまくいったときの達成感や充実感はかなり大きいです。私には特定の分野で成功したいという確固たるやりたいことはありませんが、SNSを使ってモノやコトの価値を伝えるスキルは、これから自分が何をやりたくなったとしても必ず武器になると確信しています。

現在の職場は、「自分が何を好きか」ということが強みになる職場です。好きな対象は何であれ、何かに熱中した経験がユーザーの感情を読むヒントになります。表に立つのではなく、裏方として企業をサポートし、その価値を見出し伝えていく。学生時代に気づいた「自分が介在することで物事をポジティブに変化させる」という働き方が、ここで実現できていると感じています。

現役生へのメッセージ

確固たるやりたいことが見つからなくても大丈夫です。好きの強さを人と比べる必要もありません。まずは「自分が好きなことは何か」を見つけ、それを強みとして育ててください。その積み重ねが、きっとあなたらしいキャリアに繋がっていくはずですよ。